

山岳クラブ／グーテンターク(ドイツ語 こんにちは)

# 月報 やまふみ

No.218 2013年(平成25年)12月14日発行山踏み

会 長 /TM  
事務局長 /KT  
ホームページ/<http://guten-nagano.com/>  
編 集 / YU KK TS  
印 刷 / 中央プリント株式会社



凍った池に映る太陽(会津駒)

## もくじ



山行報告(11/9~12/1) . . . . .	1~4
編集後記 . . . . .	5

### ★11月9日(土) 表妙義縦走 (例会山行)

L TK SL HY YU NT KH

妙義神社P6:50→大ノ字 7:50→奥の院 8:15→見晴 9:00→大覗き 9:30→タルワキ沢 10:00→相馬岳 10:45→堀切 12:00→鷹戻しピーク 13:00→東岳 14:20→中之岳 15:15→中之岳神社P16:00

願いが叶いました。

表妙義の白雲山から金洞山の縦走、私達、県の北部に住む者は首都圏に出る時必ず目にするギザギザな岩峰の連なる妙義山です。そしていつか挑戦してみたかった鷹戻し。



9月の例会の時「何処に行きたいの?」と言うKさんの問いかけに「表妙義縦走」と要望した事が実現しました。参加者5名、天気は快晴、風も無、今日は正に妙義縦走には最適でした。

車1台を中之岳神社Pにデポして、妙義神社で安全祈願をして登山口に入ったのは、7時  
まずは大ノ字を目指しました。妙義の山は何処の山に登っても破線、岩ゴロと木の根が露出しているルートが多い、特にこの時期は落ち葉が登山道を覆い足元要注意です。

## 『やまふみ』12月号

Kさんが「最初の20分はゆっくり」の指示の下、急坂を登っていきました。

奥の院のルンゼ30m鎖場の取り付け地は、混雑していました。でも、下から見上げると傾斜も緩く足場もしっかりしています。落ち着いて登れば問題ありませんでした。

その後も3~4か所の鎖をクリアして、眺望の開けた主稜線の見晴に着きました。

ここから眺める浅間山はとても綺麗です。もちろん手前に連なる裏妙義の眺望もバツグン、ちゃんと丁ノ頭も確認できました。

ここから先は、急峻のやせ尾根と狭い岩頭もちろん鎖場の連続、岩によじ登ったり、へばり付いたり危険な場所では、ピナで安全確保して進んで辿りついた大覗き

大覗きから、目の前に聳える天狗岳大岩壁は圧巻でした。ひと呼吸してすぐ出発しました。

大覗きからは30mぐらいの鎖場が2ヶ所、順番待ちをしてここはリズム良くダウンできました。

天狗岳から相馬岳は樹林帯の中をアップダウンの繰り返しです。でも里山とちょっと違う所は、左側から時々見える景色が切れ落ちて高度感がありました。それと奇岩・岩壁の林立が目を引きました。

やっと相馬岳の辿りつきました。相馬岳山頂は意外と賑やかで、これから向かうバラ尾根と険しい金洞山をバックに合同写真を撮り、早々に出発しました。先はまだあります。

相馬岳から下りはガレ場、これが登山道かと思われる様な転げ落ちそうに荒れた急坂、落石には本当に細心の注意です。茨尾根に入るとあまり登山者には出逢いませんでしたが、またまたアップダウンの繰り返しルートファインディングも必要です。特に茨尾根ピークへの登りが印象的でした。殆ど垂直の土の壁を露出した岩や木の根のホールドを探して3点支持での登攀でした。

堀切で行動食を取り一息入れ、私に取ってはいよいよ未体験ゾーンの始まりです。



鷹戻しです。自然に緊張感が高まります。

暫く行くと私たちの行く手に時々「鷹戻し」と書かれた道標が表れてきました。鉄の梯子登って、トラバースの鎖場を進むと登山道に白い看板に「スリップ注意、クサリを放すな」と赤い文字で書かれたプレートが目飛び込んできました。多分ここが50mの岩場を数段の鎖と梯子で登る鷹戻し、最初の張り出した岩場の鎖に付いていた滑落防止のプレートの所でピナを付け変えるのに苦心しているとKさんが補助、助かりました。

安堵もつかの間、鷹戻しピークから下りの鎖場が出現、下降点に立つと下まで見えない太い鎖と細めの鎖が二本。見た目にも厳しい岩場。振られない為か、一本が凄く太い。トップに行くYさんが、「Hさんは女性だから太いクサリは持たない方がいいよ。」と指示が飛ぶ、一か所

がオーバーハング。足を空中に出す様な感覚だ。自分に喝を入れダウン開始、でも、自分の目の前にあの太い鎖が思わず握ってしまった。握ったら放せない重い本当に重い困ったでも、なんとか下に降りた。でも途中テラスの状になっているその下もう一本鎖場が、下降開始した時鎖を持つ腕が想像以上に疲れてもう持てないと思った。思ったら大変もうダメどうしよう。思わず声に出た。「ゆっくり、左を見て足場がある。」下から声が、クサリを腕に巻き付けて、一呼吸、左側にしっかりした足場を確認、下りた私にアドバイスの嵐、Kさん「確保して手を休める事を覚えて」、納得でした。

中之岳の下りの鎖場は、Kさんにザイルを出して頂き降りました。

岩場と長いクサリが続く妙義山は気が抜けません、でも、クライミング技術を習得した人には容易だと感心しました。また、気持ちのコントロールも本当に大切だと感じました。

どうして、臆病なのに岩場が好きなんだろう。トホホホ。でも、表妙義縦走ができ本当に良かった。

H 記

## ★ 11月17日(日) 両神山八丁尾根コース(例会山行)

LU Y T H

天気: 晴れ

行程: 八丁トンネル登山口 7:40→8:35 八丁峠→9:35 行蔵峠→9:50 西岳→10:45 東岳→12:05 両神山山頂 12:20  
→

12:35 作業道入口→14:10 上落合橋林道→ 15:00 八丁トンネル登山口

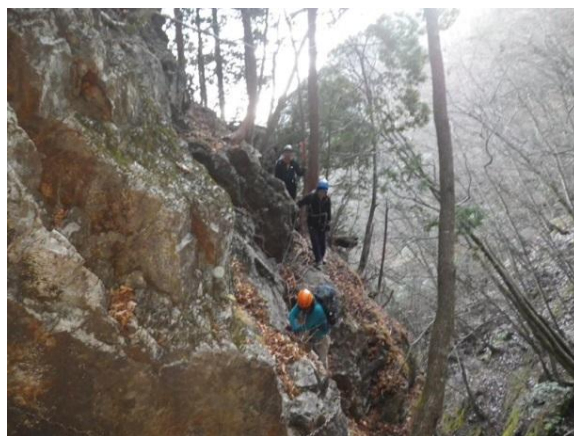
到着すると八丁トンネル登山口には、既に7、8台の車が駐車。6名ほどの山ガール・山ボーイグループの声高らかに弾む集団。こちらは、黙々と登山の準備をする中高年……。

登山口は、案内板の左手から。いきなり急登が始まる、前回の妙義山で注意されたことを思い出し、歩行速度を意識しつつ登る。八丁峠は、両神山、上落合橋及び赤岩尾根の分岐点、赤井岩方面には立ち入り禁止の標識有り。展望地としてテーブル、ベンチが有るが周りに木があり、これが展望地？

狭い道のトラバースや鎖場を超えて行蔵峠、雪を頂いた浅間山に感動するも、行く手には痩せ尾根の凹凸の先に西岳、東岳が雲一つ無い青空の中に構えている。

鎖場を登ると次は急な下り坂の行程を何度か繰り返し西岳に到着。八ヶ岳、甲武信ヶ岳、金峰山などを一望する。妙義山表縦走経験のメンバーにとっては鎖場の難易度は低いものの、アップダウンの連続に口数が少なくなる。長い鎖場の登りを何本か超えると東岳、テーブルとベンチが備え付けられている。残り1km程になった。

尾根道を進むと長い鎖場、いよいよ頂上と期待を膨らませ登るも左に急な下りのトラバース。再び登り始めると人声が聞こえ頂上に到着。頂上は狭く子連れに登山客等で混雑。狭い平らな場所を確保し行動食。



日没時間を考慮して、当初予定のピストンを止めエスケープルートを下ることにする。頂上から日向大谷口方面に少し下り分岐点を少し迷ったが作業道に入る。踏み跡は比較的明確、テープの目印も有り道迷いのリスク少ない。高度をどんどん下げながらの基本的に右方向のトラバース。5カ所目のロープの張られた沢をトラバースすると下りの尾根道に換わる。林道を通る車の音が次第に近くなると、勾配のきつい下りに換わり慎重に



足を運ぶ。林道の上落合橋には、駐車スペースが有り、数台の車が止まっていた。近くに八丁峠への登山口が有り、当初から帰路を作業道とするならこの登山口利用して両神山へ行くのがベスト。

林道に出て駐車場の八丁トンネルに向けて林道歩き。アンテナを付けた車を多く見る。トンネル手前でライフルを持って下山してきた狩猟者に獲物を聞くと鹿2頭とのこと。狩猟期の登山は、気をつけよう。トンネル内に照明が無いいためヘッドランプを付けて2 km 弱のトンネルを抜けて駐車場に着いた。

PS: 帰りには、道路の水たまりに氷が張っていた。スタットレスに履き替えておいて良かった。

Y 記

## ★12月1日(日) 天望抜群プチハイキングコース 飯盛山

JK

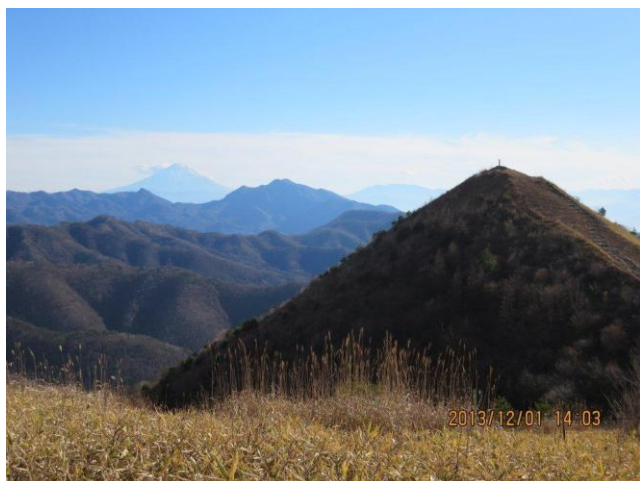
12月1日に南牧村の飯盛山に行ってみました。信大実習用の輝石を平沢峠「獅子岩」に拾いに行ったついでです。

飛ばせば30分・ゆっくり行って50分、緩やかな登りで簡単に行けます。とにかく天望最高です! 富士・金峰・瑞牆・天狗・ハケ岳・甲斐駒鳳凰・白根…ハツの裾野が見事です。

コース北側は牧場で灌木がまばらに点在。初夏はレンゲツツジが咲き誇るでしょう。眼下には野辺山宇宙線観測所の巨大アンテナが見下ろせます。

峠にはトイレ・売店のある広い舗装Pが完備。獅子岩では抜け落ちた輝石のきれいな結晶が拾えます。興味のある方、どうぞ。

尚、この峠、あの有名なナウマン博士、一直線に連なる甲斐駒～鳳凰の東面を見てフォッサマグナの存在が閃いた場所だそうです。



## \* 編集後記 \*

3年前に植えた果樹が3種で さくらんぼ 柿 杏子 それぞれ個性がある。

サクランボは毎年花が咲くが実はならない。杏子は2年目から実がなったが硬くて食えない。しかし今年は柿が実をつけた。桃栗3年柿8年とよく聞かされたが3年で見事な柿ができていささかびっくり。最初は20個くらい小さな実がなり5個くらい落ちてしまった。摘果と話を聞いてさらに半分はわざわざ良い実がなるようにもぎ取った。残った実はだんだんと大きくなり見事な色と大きさの柿になった。甘いのか渋柿なのか分からなかった。毎朝見るだけを楽しみにしておいたが先日孫がきてどうしても実を採りたいというので一人一個だけ取らせた。そして終に柿を切って食べたら甘くておいしかった。どうやら柿は我が家の庭に合っているようだ。そこで杏子とサクランボをやめて柿を植え変えることにした。3年の間に見事に成長して大きくなりなかなか簡単に抜くことができなかつた。毎日周りに水をくれて土を柔らかくしてすこしずつ掘り起こし根を一本一本切り出した。1週間かかりやっと倒すことができた。来年の春に植える柿は3年後に成長してくれるかな。少し楽しみが増えた。

／ゾラ

ついに今年漬物樽(約1斗)を購入してしまった。ずっと寒くなってくると食べたいなーと思いながら、狭い部屋の中がニオイですごい事になるしなー、と思いとどまっていたのに。ついに我慢しきれなくなって家で漬けることにした。道具も材料も用意したし、朝には霜も降りるようになってきたのでそろそろ作り時、この週末ぐらいには仕込もうかしら。おいしく育てよ麹菌！これがみんなの目に触れる頃には家の中はすごい事になっているだろうなあ。食べごろは年末から年明けかしら。

／カタカナ

立山・真砂岳で起きた雪崩事故。同じく山スキーを楽しむ立場として、ましてや現場付近を同時期に滑ったことのある身として、とても身近な事を感じました。今年は前日までに超ドカ雪が積もり、雪崩が起きるべく起きた感があり、スキーヤーの無謀さを非難する記事もあった。とはいえ、果たして美味そ～な真っさらなパウダーの大斜面を、あえて避けることができるのかしら？ま、へたくそスキーヤーとしてはリスクな大斜面より林間や緩斜面が好きなのだが。こういう事故がある度、どんどん規制が厳しくなるのも憂慮してる。でも雪崩はホント怖い。今シーズンも皆が無事に沢山楽しめますように！

／とっこ